



宮前ガバナンス

石田やすひろ・川崎市政報告

川崎市議会十二月定例会 冠水対策について質問

近年は、地球温暖化による気候変動やヒートアイランド現象が原因とされる局所的な集中豪雨が発生し宮前区内でも浸水被害が出ています。そこで、尻手黒川線の土橋交差点から馬絹交差点周辺の浸水対策について質問しました。

建設局長の答弁では、馬絹交差点南側の約20ヘクタールの地域で、下水道を今年度から概ね5年かけて整備を進め、今年度は、馬絹保育園から馬絹交差点へ向け、約150メートルの雨水管の整備を実施していくとの回答です。

土橋1丁目付近の今後の対策については、当地域は矢上川に面する低地であることから、局地的な集中豪雨

などにより、雨水が集中しやすい地形となっており、道路冠水が発生している状況です。道路冠水被害を低減させるため、あらためて冠水の原因を調査し、早期に適切な対策を検討していきますと答弁がありました。詳しくは裏面に記しております。



川崎市議会本会議場にて質問をする石田議員（平成21年12月18日）

石田やすひろプロフィール

川崎市立犬蔵中学校卒業、駒澤大学卒業、明治大学大学院(公共政策修士)修了、国会議員の秘書を経て、28歳の若さで初当選。現在3期目。議会では、健康福祉委員長、市民委員長を歴任し、子育て支援策の強化や区役所機能の強化を推進する。その他、政策を議会で提案し多数実現をしている。議会発言後は、必ず駅頭や広報紙を作成しその内容を積極的に市政報告を実施。現在、総務委員会委員

家族 妻と長男(5歳)の3人家族

石田康博事務所

〒216-0035
住所 川崎市宮前区馬絹531-2

TEL 044-861-6870
FAX 044-854-0798



ホームページ公開中

市民意見・政治に関するご意見は

「石田やすひろ公式ホームページ」から！

ブログ連日、更新中



<http://www.ishidayasuhiro.com>

宮前区の雨水対策について一般質問 (議事録要旨抜粋)

冠水対策の強化を求め!

石田議員質問・・・市道尻手黒川線周辺の雨水対策については。

建設局長答弁・・・下水道の整備は、宮前平駅北側の宮前平2、3丁目地内において、平成14年度から平成19年度にかけて内径250ミリから900ミリの雨水管を約2キロメートル整備しております。

また、宮前平駅南側の土橋2、



写真は、宮前平駅近くの矢上川。豪雨の時には水面が上がり、橋の上を通る尻手黒川道路が冠水してしまいます。

3丁目地内におきましても、平成18年度から平成20年度にかけて、内径250ミリから600ミリの雨水管を約1.9キロメートル整備してきたところです。

石田議員質問・・・尻手黒川線の今後の対策について。

建設局長答弁・・・近年は、地球温暖化による気候変動やヒートアイランド現象が原因とされる局所的な集中豪雨が発生しております。従いまして、今後とも、道路の排水機能を維持するため、雨水ますの設置や側溝改修などの整備を行うとともに、道路排水施設の清掃等、維持管理を継続的に実施してまいります。

さらに、大雨が予測される場合には、区役所建設センターが浸水対策として土のうを配布し、浸水地域のパトロール等も行ってまいります。

また、下水道については、馬絹交差点南側の約20ヘクタールの地域について、今年度から概ね5年かけて整備を進め、今年

度は、馬絹保育園から馬絹交差点へ向けて、約150メートルの雨水管の整備を実施してまいります。

石田議員質問・・・土橋1丁目付近の今後の対策については。

建設局長答弁・・・すり鉢状の地形の影響などによる道路冠水被害を低減させるため、あらためて冠水の原因を調査し、早期に適切な対策を検討してまいりますと考えています。

また、流域対策として、宅地開発に伴う雨水流抑制施設の設置などの指導をこれまでも行ってきましたが、今後も流域対策を含め総合的な雨水対策に取り組み、安全で快適なまちづくりを進めてまいります。

石田議員の意見・・・指摘した既設のボックスカルバートを大型に整備することや、雨水流抑制施設等の設置指導を行っていただき、浸水被害を出来るだけ減らしていく流下能力の向上を目指し、再び浸水被害が起らないよう対策を要望致します。